



奈良の菊 ご存じですか？

奈良県は全国的にも有名な菊の産地で、平群町では小菊、葛城市では輪菊や小菊が主に栽培されています。昼夜温差があり、花色が冴えるため、高品質な切り花が生産されており、小ギクの夏秋期出荷量は日本一です。
また、葛城市では1本の茎に2つの花をつける特産の「二輪ギク」の生産も行われており、その生産量は日本一を誇ります。



奈良県の特産である菊を使った菊人形展を、
奈良県コンベンションセンター天平広場と奈良公園バスターミナル屋上の2会場で開催します。
また、奈良の各地では「菊」行事が行われており、各会場で工夫を凝らした菊花をたっぷりとお楽しみください。

「菊」行事紹介



1 奉納菊花展 10月13日(水)～11月18日(木)

大神神社(おおみわじんじや)
◆アクセス/JR「三輪駅」下車 徒歩約6分 駐車場あり
68回目を迎える奉納菊花展。県菊花連盟の会員らが丹精込めて育てた菊の花は、祈禱殿前をはじめ拝殿前や社務所など境内各所に飾られます。七五三詣やお参りの記念撮影スポットとして毎年人気です。大神神社の秋の風物詩となっています。



2 橿原菊花展 10月20日(水)～11月23日(火・祝)

橿原神宮(かしはらじんぐう)
◆アクセス/近鉄「橿原神宮前駅」下車 徒歩約12分 駐車場あり
橿原神宮の外拝殿(げはいでん)前広場で毎年開催されている橿原菊花展は今年で37回目を迎えます。菊作りを通じて地域の発展と菊花の普及、栽培技術の向上を図る橿原菊花愛好会が丹精こめて育て上げた見事な菊花を展示しています。



写真提供:橿原神宮

3 菊薬師 11月1日(月)～11月8日(月)

金剛寺(こんごうじ)
◆アクセス/JR「五条駅」下車 徒歩約20分 または 奈良交通バス「金剛寺」下車すぐ 駐車場あり
菊は長寿を保つ霊力があると信じられてきました。五條市にある金剛寺は花の寺として知られ、毎年、本尊・薬師如来に菊花を献上し、無病息災を祈願する法要「菊薬師」が行われます。境内には懸崖(けんがい)やぼんぼり仕立ての菊の花約50鉢が並び、期間中は薬師如来の右手から繋がった「善の綱」を通じて縁を結び、健康長寿を祈ることができます。



撮影 堀込孝

4 菊まつり 11月1日(月)～11月22日(月)

如意輪寺(にょいりんじ)
◆アクセス/近鉄「吉野駅」下車 徒歩約35分 駐車場あり
吉野山の中腹に位置し、四季を感じ自然豊かな中に伽藍が連なる如意輪寺では「菊まつり」を開催。如意輪寺は後醍醐天皇勅願寺で南朝とゆかりの深いお寺であり、後醍醐天皇のご生誕をお祝いして、近隣の方々が心を込めて育てた菊花が彩る境内は、吉野山の秋の風物詩の一つとなっています。また、11月2日(火)9時の開闢法要ののち、後醍醐天皇御霊殿特別御開帳が行われます。(特別御開帳は11月18日まで)



<奈良県コンベンションセンター>



←ホームページQR
<http://www.nara-cc.jp/>

アクセスMAP



近鉄「新大宮駅」より徒歩約10分

【バスをご利用の方】
・新大宮駅、近鉄奈良駅、JR奈良駅から
奈良交通バス 「三笠中学校前」または「奈良市庁前」下車して徒歩すぐ
・近鉄奈良駅・大和西大寺駅から
奈良交通ぐるっとバス 「奈良県コンベンションセンター」下車して徒歩すぐ
【駐車場】400台 ※入庫後60分以内無料 ※最大料金24時間/1000円
(料金)30分/100円(08:00～24:00) 1時間/100円(0:00～8:00)

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、37.5℃以上の発熱がある方や体調が優れない方は、ご来場をお控えください。
・会場内ではマスクの着用をお願いします。また、大声での鑑賞はご遠慮願います。
・イベント等についても急きょ中止となる場合がありますので、実施状況に関しては事前に奈良県HPにてご確認ください。また、表面お問い合わせまでご連絡ください。